

## 「日本歯科理工学会誌特別号 地方会セミナー講演集」の執筆要領

### 1. 原稿の書き方

- (1) 講演集は1演題につき1頁です。原稿は、見本の要領で必ずA4 1枚に収まるようにお書きください。学会ホームページの地方会セミナーページ (<https://www.jsdmd.jp/area/>) より、テンプレートをダウンロードして、ご利用ください。これが講演集の1頁にそのまま印刷されます。
- (2) 原稿には、100ワード以内の英文アブストラクトを付けてください。
- (3) 原稿は、英文アブストラクトまでが両段、[緒言] から以降の和文は2段でお書きください。
- (4) 和文は明朝体10.0または10.5ポイントで、演題のみ12ポイントでお書きください。
- (5) 英文はTimes New Roman11ポイントで、演題のみ太字で、お書きください。
- (6) 図・写真・表は、原則として一つが両段に跨らないように収めてください。画像の解像度は300dpi以上で、片段の場合、横幅70-75mmにして、グレースケールのフォーマットで、doc内に挿入してください。
- (7) すべて英文で執筆される場合は、英文レイアウト見本に準じてください。

### 2. 執筆内容 (和文抄録)

- (1) 「演題名、氏名、所属」、「英文：演題名、氏名、所属、アブストラクト」[緒言] ([緒論])、[方法] ([材料および方法])、[結果]、[考察] ([結果および考察]) の順で内容を具体的にお書きください。
- (2) 「演題名」のみ中央寄せで、「氏名、所属」、「英文：演題名、氏名、所属、アブストラクト」は左寄せで印字してください。発表者が複数の時は講演者の名前の前に○印をしてください。  
所属の略称は学会ホームページあるいは前回の講演集プログラムを参照のうえ印字してください。所属が複数の時は、記入例に倣い数字を氏名の右に肩付きで印字してください。英文も同じですが、所属は大学名までとします。  
\*所属の番号の表記は所属が1機関の場合は番号なし、2機関以上の場合には1番目が1，2番目が2，3番目が3，…に統一させていただきます。  
\*なお、演題英文タイトル等の記載方法は以下のように変更となりましたので、例示に従いご執筆ください。  
○演題名は最初の文字のみ大文字とし、他は小文字とする。  
例:First word is only capitalized  
○演者名は最初にFamily nameを記載し(最初のみ大文字)、半角スペースを空けてから First nameをイニシャルだけ大文字で記載する(ピリオドはつけない)。  
例:Yoneyama T, Nakajima H, Ban S

○文章中の句読点「。」「、」「.」「,」が混在しているので、「.」「,」に統一する。

- (3) [緒言]（[緒論]）の研究目的の部分には、アンダーラインを付してください。また、[考察]（[結果および考察]）の中には必ず結論を含め、その部分にアンダーラインを付してください。
- (4) 引用文献を付ける場合は学会ホームページに掲載の「投稿の手引き」に従って記載をしてください。

<https://www.jsdmd.jp/publication/file/contribution.pdf>

- (5) 非会員の共同研究者は、文末に謝辞として記載してください。